



マイコン型オルスバーグ蓄熱式電気暖房器 取扱説明書 強制放熱タイプ共通

標準型 (14 412 6C X~14 417 6C X)

縦長型 (14 434 6C X~14 436 6C X)

横長型 (14 452 6C X~14 456 6C X)

このたびはオルスバーグ蓄熱式電気暖房器をお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みいただいた後は、保証書が付属しておりますので大切に保存してください。

< ご注意 >

シーズンオフ又はお使いにならない場合の設定の仕方

暖房シーズンが終わりましたら、不要な動作を防ぐ為、必ず蓄熱量設定を0%にしたうえでチャイルドロックをかけ、200Vブレーカーを「切り」にして下さい。

蓄熱式電気暖房器が転倒した場合の処置

「万が一、蓄熱式電気暖房器が転倒した場合、基本的には転倒センサーの作動により電源が遮断されますが、念のためお手をふれずに電源をお切りください(100V、200Vともにブレーカーを切る。一部の蓄暖の100Vはコンセントから抜く)。

また、すみやかに販売店、または工事店に連絡してください。」

目次

	ページ
1. 特長・使用上の注意	2～3
2. 操作部、名部の名称	4
3. 標準的な使用方法	5
4. 時計修正の方法	6
5. 蓄熱設定ダイヤルの操作説明	7
6. 室温設定ダイヤルの操作説明	8
7. 蓄熱ボタンと蓄熱動作ランプの説明	9
8. ファンボタンとファン表示の説明	10
9. 表示切替の説明	10
10. チャイルドロックの操作説明	11
11. 前日通電時間表示	12
12. エラー表示の説明	13
13. お手入れの仕方	13
14. アフターサービスと保証	14
15. 電気回路及び接続端子台	14
16. 製品仕様書	15
17. 保証書	16

特長

蓄熱式電気暖房器は次のような数多くの優れた特長を持っています。

経済性

深夜電力を利用しますので、維持費は灯油暖房並みの安さです。

安全性

火気を一切使用しないため、爆発、火災、中毒また酸欠の心配は全くありません。

快適性

ふく射と自然対流の複合暖房のため、実にマイルドな暖房感です。

クリーン性



換気の手配もなく、室内も汚れないヘルシー暖房です。




メンテナンスフリー

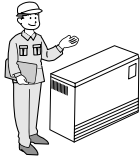
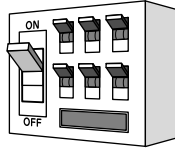
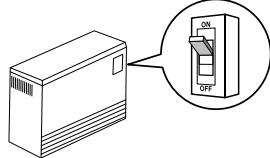
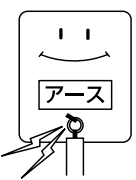
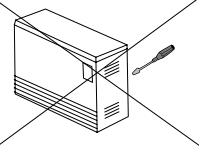
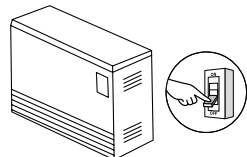
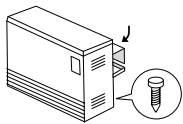
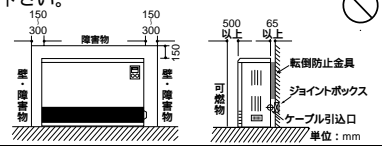
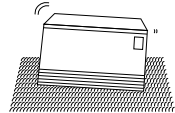
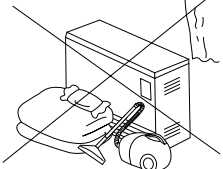
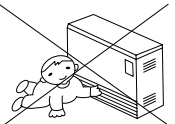
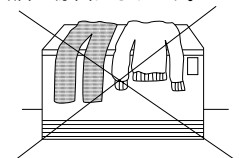
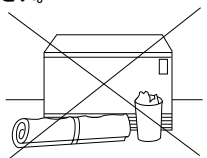
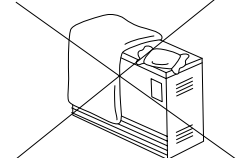
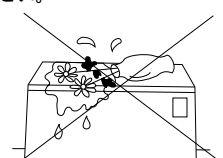
実にシンプルな機構のため、故障知らずの上、操作も簡単で面倒な燃料補給も不要です。

1. 使用上の注意

蓄熱式電気暖房器「オルスバーク」は、安全性には十分考慮して設計されていますが、より安全で快適にご使用いただくために、下記の点にご注意ください。
ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。

	警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	「禁止」を表します。
	「火傷の恐れあり」を表します。
	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

<p>据え付け工事は専門業者に</p> <p>必ず弊社認定のサービス店または工事店に工事を依頼して下さい。</p> 	<p>ブレーカーは指定容量で</p> <p>指定容量（アンペア）のブレーカーを単独で使用して下さい。</p> 	<p>遮断装置の設置が必要です</p> <p>固定配線する場合は、全極において3mm以上の接点距離が確保できる遮断装置を設けて下さい。</p> 
<p>アース線は必ず接続</p> <p>接続されていないと感電・故障の原因となります。</p> 	<p>分解・改造は絶対不可</p> <p>事故の原因となりますので、分解・修理・改造は絶対にしないで下さい。修理は販売店にご相談下さい。</p> 	<p>点検時等はブレーカーを「切」に</p> <p>感電の恐れがありますので点検時は必ずブレーカーを切して下さい。</p> 
<p>転倒防止金具を取り付けて</p> <p>地震、その他による転倒を防ぐため付属の転倒防止金具を取り付けて下さい。また本体を付属のビスで床面に固定して下さい。</p> 	<p>可燃物から離して設置</p> <p>家具や壁等の間には下図のように離して下さい。カーテン等燃えやすいものの近くでは特に守って下さい。</p> 	<p>不安定な場所に置かない</p> <p>安定性を維持するために、ヒーターが水平面上に置かれることが重要です。ヒーターの下にあるカーペットやタイル等の凸凹が原因でできる不規則な表面を回避できるようにして下さい。</p> 
<p>本体に接触して物を置かないで</p> <p>本体に接触して物を置かないで下さい。</p> 	<p>やけどに注意</p> <p>温風吹き出し口に手足などをふれないで下さい。乳幼児や体の不自由な方は暖房器に近づかせないで下さい。</p> 	<p>暖房以外に使用しないで</p> <p>衣服の乾燥など暖房以外の目的に使用すると、火災や故障の原因になります。</p> 
<p>吹出し口を塞がないで</p> <p>温風吹き出し口の近くに暖気をさえぎる物を置かないで下さい。</p> 	<p>本体に覆いをかけないで</p> <p>本体を毛布や布団、タオル等で覆わないで下さい。</p> 	<p>水をかけないで</p> <p>花びんの水をこぼしたり、雨の吹込みに気をつけて下さい。</p> 

2. 操作部、各部の名称

操作部の位置関係と名称を説明しています。

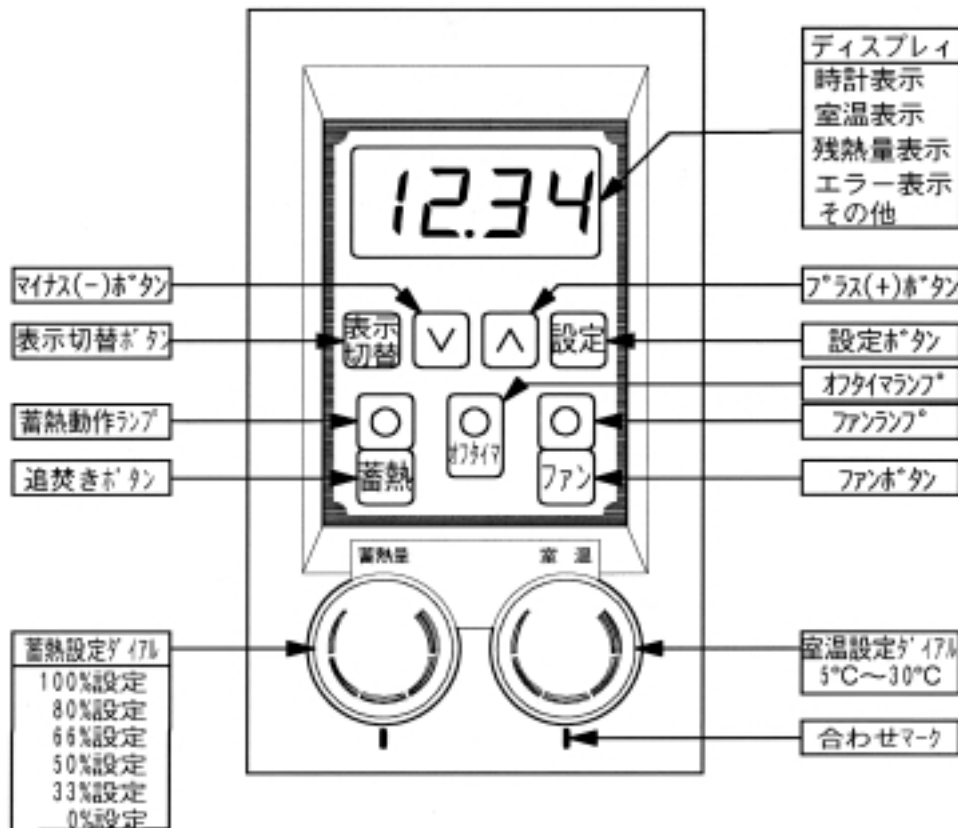
操作部の特長：この操作部は簡単操作と、運転状態の分かりやすさを追求しています。

ディスプレイは、緑色表示器を使用しているため目に優しく、就寝時不快感がありません。

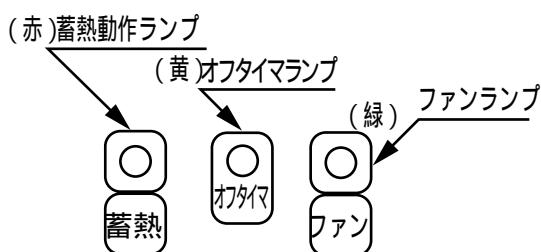
各ボタンは1機能1ボタンが基本になっているため操作が簡単です。

各ランプは色別されており、離れていても運転状況が色彩感覚で確認できます。蓄熱量、室温設定は、左右に廻すダイヤルを採用しているため簡単に操作できます。

2つのダイヤルはお客様が操作したときだけ、設定値が自動的にディスプレイに表示されるので設定値の確認が容易です。



表示ランプの動作説明



(赤)蓄熱動作ランプ：

ヒーターに通電されてる時、蓄熱動作ランプが点灯します。

(黄)オフタイマランプ：

蓄熱ボタンを押すとオフタイマが作動し(2時間)オフタイマランプが点灯します。

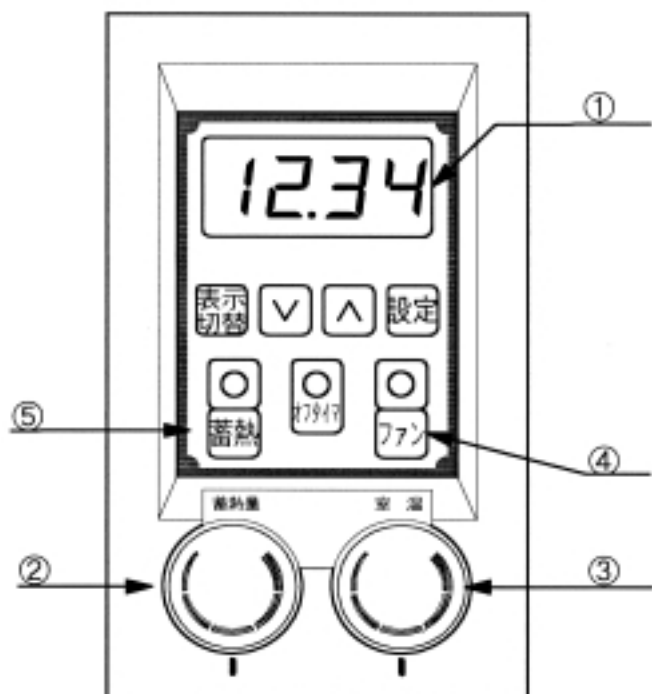
(緑)ファンランプ：

ファンボタンが押され、強制放熱運転のときファンランプが点灯します。

〔注意〕 各ボタンは、つまみやボールペン等硬い物で押さないで下さい。故障や破損の原因となります。

3. 標準的な操作方法

操作手順をまとめて説明しています。



1. 時計が正しいか確認する。

「オルスバーグ」蓄熱式電気暖房器は、内蔵のマイコンにプログラムされたタイマーの動きにより自動的に最適蓄熱を行います。

時計が大幅にくった場合、本来の性能を發揮できないので6ヶ月に1度程度、時計のくるいを確認してください。

時計を修正する場合、6頁の「4. 時計修正の方法」の手順で設定してください。

2. 蓄熱量を設定しておく。

7頁の「5. 蓄熱設定ダイヤルの操作説明」にしたがい、の「蓄熱設定ダイヤル」を任意の位置に設定してください。

3. 強制放熱運転

のダイヤルで室温を設定し、の「ファン」をオンすると現在室温に応じファンが自動的に作動し設定室温に保ちます。

8頁の「6. 室温設定ダイヤルの説明」と、10頁の「8. ファンボタンとファンランプ」の説明にしたがい暖房運転を行ってください。

4. 自然放熱運転

の「ファン」ファンボタンをオフにするとファンは作動せず、ふく射熱を利用して暖房を行います。

5. 追焚き運転をする。

蓄熱量が不足した場合の「蓄熱」を押すと追加暖房ができます。

9頁の「7. 蓄熱ボタンと蓄熱動作ランプ」の説明をお読みください。

[ご注意] ご利用の時間によって通常の蓄熱時より、電気料金が高くなる場合があります。時間帯別電灯契約でお使いの場合のみご利用できる機能です。

6. 表示切替をする。

.....10頁の「9. 表示切替の説明」をお読みください。

7. チャイルドロックを使用する。

.....11頁の「10. チャイルドロックの操作説明」をお読みください。

8. 前日通電時間を確認して電力使用量を確認する。

.....12頁の「11. 前日通電時間累計の確認」をお読みください。

9. エラー表示がされた場合。



.....13頁の「12. エラー表示の説明」にしたがい対処してください。

4. 時計修正の方法

「オルスバーグ」蓄熱式電気暖房器は、内蔵のマイコンにプログラムされたタイマーの動きにより自動的に最適蓄熱を行います。

時計が大幅にくるった場合、本来の性能を発揮できませんので、6ヶ月に1度程度、時計のくるいを確認してください。

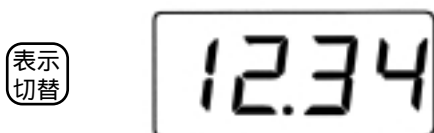
時計修正の方法

時刻は「分」と「時」を別々に   ボタンで修正します。

 「プラス (+) ボタン」は順送り、 「マイナス (-) ボタン」は逆送りです。長押しすると早送りする事ができます。

15秒間何も操作をしないと「時計表示」に戻ります。

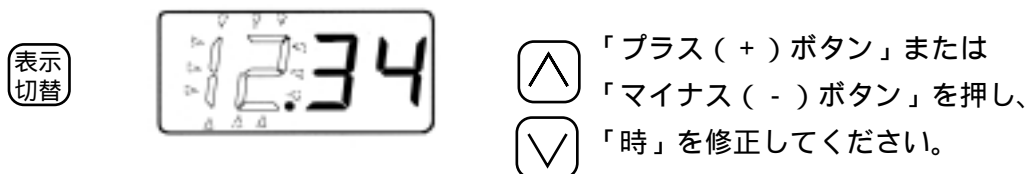
1. 「表示切替」ボタンを押し、ディスプレイに時計を表示させます。




2. 「分」の設定 : 時計表示の時に「設定」ボタンを押すと「分」表示が点滅します。



3. 「時」の設定 : 「分」設定時に「表示切替」ボタンを押すと「時」表示が点滅します。



設定モード時に  ボタンを押すと「分」と「時」設定が切替わります。

4. 時刻の設定 : 時刻の修正が終わりましたら「設定」ボタンを押すと確定します。



5. 蓄熱設定ダイヤルの操作説明

「蓄熱設定ダイヤル」により、蓄熱量を設定します。

真冬の厳寒期に比べ、春、秋、は暖房の度合いが少なくなります。そのため季節に応じて「蓄熱設定ダイヤル」で蓄熱量を変え常に快適にお使いいただくことができます。

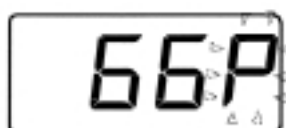


操作部左下の「蓄熱設定ダイヤル」は、蓄熱量を調節します。ダイヤルを右にいっぱい「合わせマーク」まで廻すと100%設定となり、左にいっぱい廻すと0%（蓄熱停止）となります。

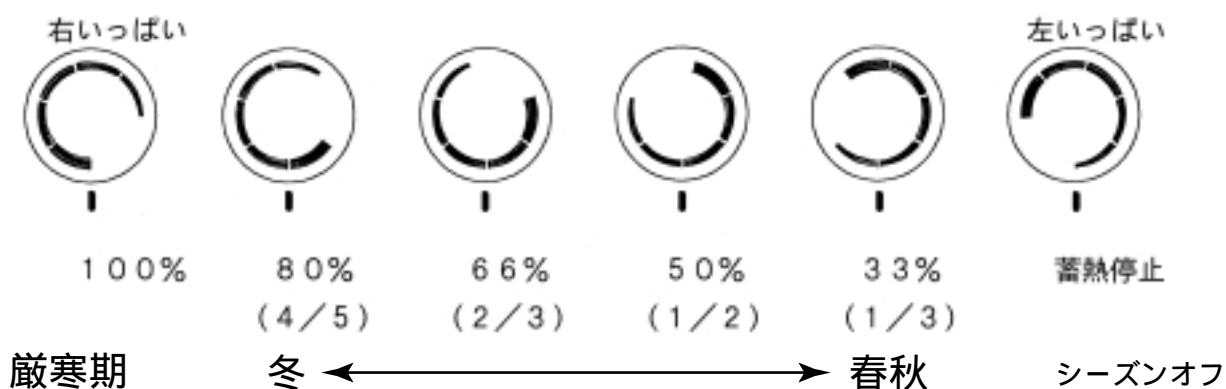
蓄熱量は、100%、80%、66%、50%、33%、0%の6段階に設定できます。

ダイヤルは下図のように規定位置がありますが、規定位置から多少ずれて設定しても規定位置に近いほうに設定されます。

「蓄熱設定ダイヤル」を操作したとき、「ディスプレイ部」に2秒間設定値が表示されますので正確な設定をすることができます。



パーセントを表わす「P」が点滅します。



80%～33%蓄熱設定の場合、通電終了後ヒーターの余熱によって設定蓄熱量より表示残熱量が多くなる場合があります。

シーズンオフ又はお使いにならない場合の設定の仕方

暖房シーズンが終わりましたら、不要な動作を防ぐ為、必ず蓄熱量設定を0%にしたうえでチャイルドロックをかけ、200Vブレーカーを「切り」にして下さい。

6. 室温設定ダイヤルの説明

「室温設定ダイヤル」により、いつも快適な室温を確保します。

用語の説明：

「強制放熱運転」とは、室温設定ダイヤルを任意の位置に設定して「ファンボタン」を(入り)の状態にして運転することを言います。

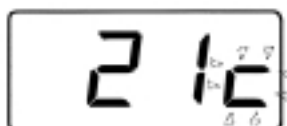
「自然放熱運転」とは、「ファンボタン」を(切り)の状態にし、ふく射熱を利用して運転することを言います。

「室温設定」とは室温を設定することを言いますが、表示される現在室温は部屋の他の温度計と一致するとは限りません。この暖房器の温度センサーは、右側板下部付近の温度を感知するため、設置条件により部屋の実際温度と異なる場合があります。設置条件に合わせ、お客さまの工夫で「室温設定ダイヤル」を調節してください。



操作部右下の「室温設定ダイヤル」は暖房運転時の室温を調節します。ダイヤルを右にいっぱい「合わせマーク」まで廻すと30℃設定となり、左にいっぱい廻すと5℃設定となります。

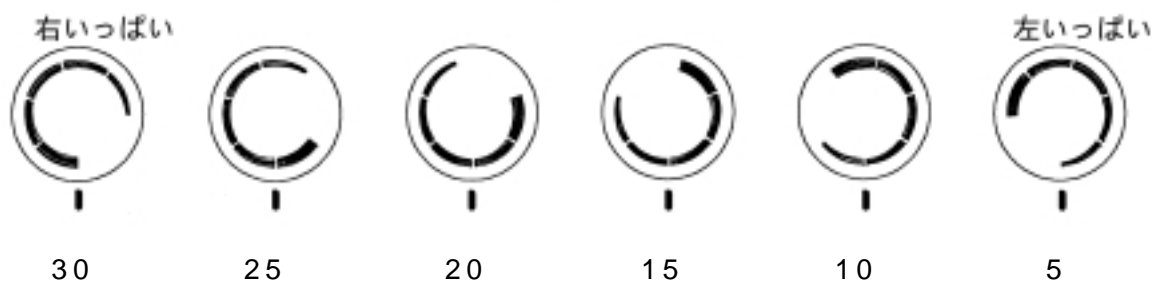
「室温設定ダイヤル」を操作したとき、「ディスプレイ部」に2秒間設定値が表示されるので正確な設定をすることができます。



を表わす「C」が点滅します。

30℃～5℃の間は、1℃きざみで無段階に設定できます。

下図は、ダイヤル位置と設定温度の目安を示しています。



7. 蓄熱ボタンと蓄熱動作ランプの説明

追焚き運転の方法を説明しています。

用語の説明：

「追焚き運転」とは、蓄熱量が不足した場合、追加蓄熱を行うことを言います。

ただし、時間帯別電灯契約でお使いの場合に限ります。

ご利用の時間帯によって電気料金が高くなりますので、ご契約の内容をよく確認の上お使いください。

追焚き運転の操作1・・・自然放熱運転時（ファンスイッチOFFの時）



「蓄熱ボタン」を押すと、「蓄熱動作ランプ」(赤)と、「オフタイマランプ」(黄)と「ファンランプ」(緑)が点灯し追焚き運転が開始されます。

「オフタイマランプ」(黄)は、オフタイマ(2時間)作動中に点灯します。

2時間後、「蓄熱動作ランプ」と「オフタイマランプ」と「ファンランプ」が消灯し追焚き運転が自動停止し、自然放熱運転に戻ります。

2時間経過する前に設定蓄熱量に達した場合、追焚き運転は自動停止します。

追焚き運転の操作2・・・強制放熱運転時（ファンスイッチONの時）



「蓄熱ボタン」を押すと、「蓄熱動作ランプ」(赤)と、「オフタイマランプ」(黄)が点灯し追焚き運転が開始されます。

「オフタイマランプ」(黄)は、オフタイマ(2時間)作動中に点灯します。

2時間経過後、「蓄熱動作ランプ」と「オフタイマランプ」のみが消灯し追焚き運転が自動停止し、強制放熱運転に戻ります。

2時間経過する前に設定蓄熱量に達した場合、追焚き運転は自動停止します。

連続追焚き運転の操作



「蓄熱ボタン」を3秒間長押しすると「オフタイマ」が解除され連続追焚き運転となります。

設定蓄熱量に達した場合、連続追焚き運転は自動停止します。

追焚き運転の解除



追焚き運転中に、「蓄熱ボタン」を再度押すと追焚き運転が解除され、蓄熱動作ランプと、「オフタイマランプ」が消灯します。

追焚き運転中に通電制御による蓄熱開始時刻になった場合、追焚き運転はキャンセルされます。設定蓄熱量に達している場合は、追焚き運転を行う事はできません。

蓄熱のみ行いたい場合は、ファンを停止する事が出来ます。

(ファンボタンを押して、ファンランプ「緑」の消灯を確認して下さい。)

8. ファンボタンとファン表示の説明

ファン機能の使い方。

ファンを「入り」にすると「ファンランプ」(緑)が点灯し、強制放熱運転となります。
「ファンランプ」が点灯している場合、室温設定に応じてファンが廻ったり停止したりしながら室温を一定に保ちます。

ファンを「切り」にすると「ファンランプ」が消灯し、自然放熱運転となります。
夜間電力時間帯におけるファン動作。

ファンが「入り」の場合、ファンの「運転」「停止」に連動し、ヒーター電源も「入り」「切り」します。
通電制御による蓄熱開始時刻になると、ファン回路は自動で切れます。その後マニュアル操作で「入り」とする事が出来ますが、翌日の蓄熱量が不足する事があります。
夜間電力時間帯終了時に、通電制御による蓄熱開始直前の運転状態に自動復帰します。

夜間電力時間帯終了前にファンをご使用になる場合

お休みの時にファンを「入り」にし、室温ダイヤルを低め(ファンが回らない程度)に設定して下さい。朝ご使用になる時に、室温ダイヤルをご希望の温度に設定して下さい。

(ファンを「切り」にしてお休みになると、夜間電力時間帯終了時にオート機能が働きファンは「切り」となります。)

9. 表示切替えの説明

表示切替ボタンで、ディスプレイに時計以外の表示をさせることができます。

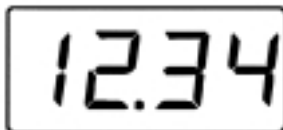
お好みに合わせ表示モードを選択してください。

表示切替ボタンの操作方法

表示切替

初期設定は、「ディスプレイ」に時計が表示されています。

(1) 時計表示

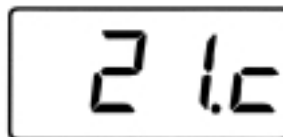


12時34分を示します。

表示切替

「表示切替ボタン」を1回押すと1回目は次のように表示が切り替わります。

(2) 室温表示

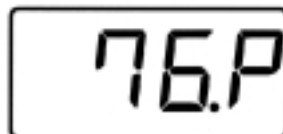


室温が21 を示します。

表示切替

「表示切替ボタン」を2回押すと2回目は次のように表示が切り替わります。

(3) 残熱量



現在残熱量76%を示します。

表示切替

「表示切替ボタン」をさらに押すと時計表示に戻ります。

どの表示で使用していても運転には影響を与えません。

時計設定、前日通電時間表示を行った場合、操作終了後時計表示に戻ります。

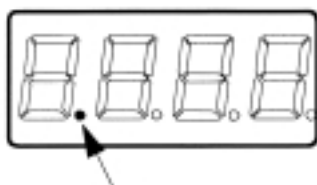
10. チャイルドロックの操作説明

操作部は、不意な操作を防止するためチャイルドロック機能があります。

10-1：チャイルドロックをかける

表示
切替

「表示切替ボタン」を3秒以上長押しするとチャイルドロックがかかります。



チャイルドロック表示（左端の点が点灯します）

チャイルドロックがかかっている場合 **表示切替** 以外のボタンやダイヤルは操作できません。

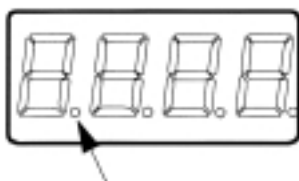
室温調節ダイヤル、蓄熱量調節ダイヤルを操作してもチャイルドロックがかかる直前の状態が維持されています。

チャイルドロックの状態でも「時計表示」「室温」「残熱量」の表示切替は自由にできます。

10-2：チャイルドロックを解除する

表示
切替

チャイルドロックを解除するには、「表示切替ボタン」を3秒以上長押しすると解除となります。



チャイルドロック表示（左端の点が消灯します）

室温調節ダイヤル、蓄熱量調節ダイヤルがチャイルドロック中に操作されて位置がずれた場合、ロック解除時点ではロックがかかる直前の設定状態を維持し、次に操作した時点で設定内容が変更となります。

1 1 . 前日通電時間表示

前日蓄熱のために通電した時間を確認できます。

時間帯別電灯契約、深夜電力契約の場合にご利用できます。

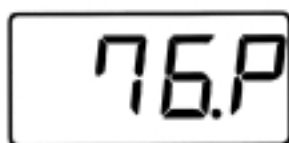
通電時間は昼間電力時間帯の通電時間、夜間電力時間帯の通電時間、前日の合計通電時間のそれぞれを確認できます。

ヒーターに通電した分のみの通電時間表示です。(200Vのみ)

15秒間操作をしないと「時計表示」に戻ります。

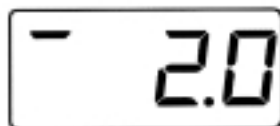
表示切替

1. 「表示切替ボタン」を押し、残熱量表示にする。



▽

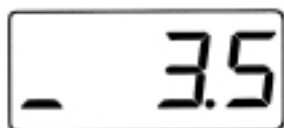
2. ▽ を押し「昼間電力時間帯通電時間」表示に切り替わります。



(例) 昼間電力時間帯に2時間通電し事を表します。

▽

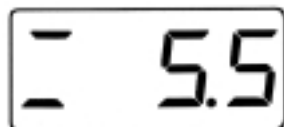
3. さらに ▽ を押し「夜間電力時間帯通電時間」に切り替わります。



(例) 夜間電力時間帯に3.5時間通電した事を表します。

▽

4. さらに ▽ を押し「前日合計通電時間」に切り替わります。



(例) 前日に合計5.5時間通電した事を表します。

表示切替

- 5 「表示切替ボタン」を押し、時計表示に戻ります。

※ ▽ を押しごとに「昼間電力時間帯通電時間」→「夜間電力時間帯通電時間」→「前日合計通電時間」表示が順次切替ります。

【ご参考】前日電力使用量の計算：kwh = 表示分 × 暖房器容量 (kw)
小数点以下の数値を6倍すると「分」に換算できます。





(例) 5.5時間 → 5時間30分、5.4時間 → 5時間24分

表示の関係上、実通電時間に対し、数分の誤差が生じる場合があります。

1 2 . エラー表示の説明

エラーが発生した場合の表示と対処方法を説明しています。

暖房器に次のエラーが発生した場合、ディスプレイにエラー番号が表示されます。

表 示	エラー内容	対応の仕方
	室温センサー異常	エラー情報がなくなれば表示は自動解除します。 (自動解除する場合、機械は正常です) 連続表示する場合、メイン基板のコネクターを外し、異常が無いか確認の後、再度確実に取り付ける。 100V電源の再投入を行う。 室温センサーの交換を行う。
	コアセンサー異常	エラー情報がなくなれば表示は自動解除します。 (自動解除する場合、機械は正常です) 連続表示する場合、メイン基板のコネクターを外し、異常が無いか確認の後、再度確実に取り付ける。 ジョイント用端子台の取り付け状態をチェック。 100V電源の再投入を行う。 コアセンサーの交換を行う。
	蓄熱異常	200V電源の確認を行う。 エラーチェック機能(蓄熱ダイヤルを0%に合わせ3秒間保持)を使用し、エラーの解除を行なう。 100V電源の再投入を行う。
	転倒検知センサー異常	本体の設置状態が水平であることを確認する。 100V電源の再投入を行う。

エラーチェックの仕方

蓄熱量ダイヤル最小値に合わせ、3秒間以上そのままにして下さい。
エラーチェックを行っても解除できない場合は、販売店に連絡して下さい。

1 3 . お手入れの仕方

必ず電源を切り、本体が冷めてから行ってください。

本体は乾いた柔らかい布で拭いてください。

汚れがひどい場合は中性洗剤を染込ませた布で拭き、その後乾いた布で拭いてください。

吸い込み口や温風吹き出し口には埃が溜まります。こまめに掃除機等で取り除いてください。

本体背面部及び底面部の隙間に可燃物が入り込んだ場合、すぐに取り除いてください。

パネルを外して本体内部を掃除する事はおやめください。部品の破損や感電の恐れがあります
本体表面はベンジンやシンナー類、みがき粉などは表面を傷めますので使用しないでください。

内部の清掃はお買い上げの販売店にご依頼ください。

(内部の清掃は保証期間内でも有料となります。特にファンへの埃の付着は温風が出ない等の
トラブルの原因となりますので、少なくとも2~3年に一度程度清掃してください)

14. アフターサービスと保証

サービス（点検・修理）を依頼される場合は

ご自分で修理なさらずに、エラー表示や症状をご確認の上お買い上げの販売店へご連絡ください。
アフターサービスを依頼される場合は、次のことをお知らせください。

型番・・・保証書または、本体右側板下部の銘板シールに記載されております。

例)「14-4**-6C-X」

故障の状況・・・いつ頃から、どのような症状が出ていたか？

移設をされる場合は

設置工事が必要となりますのでお買い上げの販売店に前もってご相談ください。

ヒーターの再組み立て中、断熱材に安全性を損なう可能性のある損傷が発生したり、劣化が確認された場合は、同一の部品と交換して下さい。

お断りとお願い

初期の蓄熱時に、臭いや煙の発生が見られる場合がありますが異常ではありません。臭いや煙が発生した場合は、窓を開けるなどしてお部屋の換気を充分に行ってください。

初期の運転に限り見られる現象です。

原因は、内部の断熱材、蓄熱レンガやヒーター素子等に付着した油等の焼けによるものです。

数回の運転で現象は収まります。

本体に音鳴りが発生する場合がありますが、異常ではありません。

加熱を始めた時に発生する場合があります。

暖房運転中、ファンを止めた時に発生する場合があります。

筐体が冷えて来ると発生する場合があります。

これらは熱に対するパネルの収縮によるものですので、異常ではありません。

保証について

この製品には保証書が添付されています。お買い上げの販売店で所定事項を記入いたしますので、ご確認の上大切に保管してください。

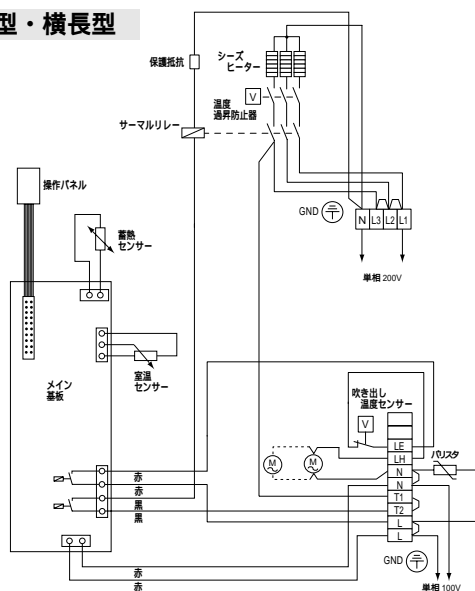
保証期間中に故障が発生した場合、保証書の記載内容に基づき無料修理を行います。詳しくは保証書をお読みください。

保証期間経過後の故障についてはお買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料で修理いたします。

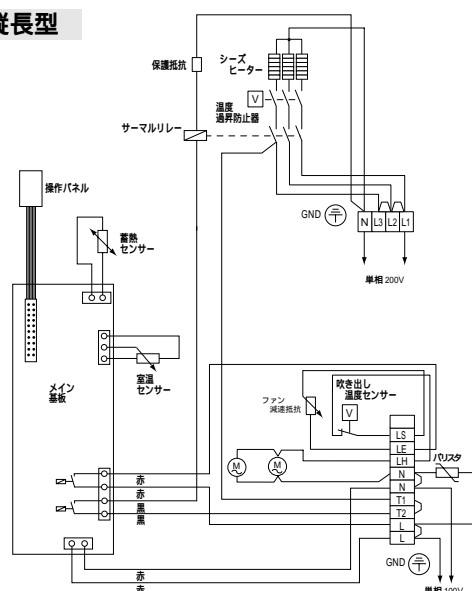
この商品を他の人に販売又は譲渡する場合は、この取扱説明書（保証書）を必ず添付して下さい。

15. 電気回路及び接続端子台

標準型・横長型



縦長型



標準型の412・413並びに横長型の452・453はファンモーターが1個仕様です。

16. 製品仕様書

型番		標準 (スタンダード) 型					縦長 (チムニー) 型			横長 (ベンチ) 型						
		412-6C-X	413-6C-X	414-6C-X	415-6C-X	416-6C-X	417-6C-X	434-6C-X	435-6C-X	436-6C-X	452-6C-X	453-6C-X	454-6C-X	455-6C-X	456-6C-X	
定	蓄熱部	電圧(V)	単相200													
		容量(kW)	2.010	3.000	4.005	5.010	6.000	7.005	4.005	5.010	6.000	2.010	3.000	4.005	5.010	6.000
格	送風部	電圧(V)	単相100													
		容量(w)	15	16	25	26	36			15	16	25	26			
蓄熱レンガ		素材	酸化マグネシウムを主体とした特殊セラミック					酸化鉄を主体とした特殊セラミック								
蓄熱レンガ使用数(箱数)	SP19	2	3	4	5	6										
	SP20	2	3	4	5	6										
	SP29						6									
	SP30						6									
	SP26							3	3	3	4	5	6	8	9	
	SP27							3	4	6						
SP37								1								
定格時間(h)		8														
定格蓄熱(kWh)		16.080	24.000	32.040	40.080	48.000	56.040	32.040	40.080	48.000	16.080	24.000	32.040	40.080	48.000	
最大蓄熱量(kW)		13.670	20.640	27.870	35.270	42.240	49.320	28.200	35.670	42.720	13.830	20.880	28.200	35.270	42.240	
最大蓄熱率(%)		85	86	87	88	88	88	88	89	89	86	87	88	88	88	
ヒーター素子		ステンレスシーズヒーター														
断熱材		マイクロサーム及びマルチサーム550					マイクロサーム及びアイソサーム			マイクロサーム及びマルチサーム550						
送風機	ファンタイプ	シロッコファン														
	個数	1	2					1			2					
蓄熱量調節器		HT PT100センサー														
		OFF 215														
		蓄熱量調節器：100%、80%、66%、50%、33%、0%の6段階調節														
放熱量調節器		IC温度センサー														
		設定室温に応じファンの自動ON-OFF														
温度過昇防止器	OFF 135							OFF 150			OFF 135					
	手動復帰型															
送風温度調整ダンパー		バイメタル駆動														
		吹き出し口温度に応じ自動開閉														
転倒時給電停止装置		フォトセンサー 360°の方向に25°の傾斜で動作														
		正常姿勢に戻した後100V電源を再投入														
		ヒーター及びファン電源を遮断														
吹き出し口温度センサー		OFF 112					OFF 125			OFF 112						
エラー表示	Er. 01	室温センサーエラー														
	Er. 02	蓄熱センサーエラー														
	Er. 03	蓄熱エラー：ヒーター回路にエラーが発生した場合表示。														
	Er. 04	転倒センサー作動：転倒していない場合も25°以上の傾斜を感知すると作動。														
転倒防止機構		L型及びプレート状転倒防止金具にて背部壁固定														
電源ケーブル(断面積 mm ²)	200V用	3.5	5.5	8			5.5	8		3.5	5.5	8				
	100V用	2														
寸法	幅(mm)	560	735	910	1085	1260	1260	665			830	980	1130	1430	1580	
	高さ(mm)	640					788	916	1044	476						
	奥行(mm)	240					320			285						
重量(kg)		96	136	177	218	258	343	214	262	309	146	179	213	279	312	